

様式に記載の売上高等の時期

最近3か月	(令和 年 月 ~ 令和 年 月)
前年同期	(令和 年 月 ~ 令和 年 月)

表1:事業が属する業種ごとの最近1年間の売上高

業 種	最近1年間の売上高	構成比
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
全体の売上高	円	100%

※：業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。太枠には主たる業種を記載(主たる業種とは、最近1年間の売上が最大の業種で、指定業種)。主たる業種以外の業種は、業種欄に複数の業種を記載し、最近1年間の売上高欄に売上を合算して記載してよい。

表2:企業全体に係る原油等の仕入れ単価の上昇

	原油の仕入れ最近1か月の平均仕入れ単価	原油等の前年同月の平均仕入れ単価	原油等の仕入れ単価の上昇率 $(E/e \times 100 - 100)$
主たる業種	(E1) 円	(e1) 円	(R1) %
企業全体	(E2) 円	(e2) 円	(R2) %

表3:企業全体の売上原価に占める原油等の仕入れ価格の割合

	最新の売上原価	最新の売上原価に対応する原油等の仕入れ価格	売上原価に占める原油等の仕入れ価格の割合 $(S/C \times 100 - 100)$
主たる業種	(C1) 円	(S1) 円	(D1) %
企業全体	(C2) 円	(S2) 円	(D2) %

表4:企業全体の製品等価格への転嫁の状況

	最近3か月間の原油等の仕入れ価格	最近3か月間の売上高	(A/B) $\times 100$	前年同期の原油等の仕入れ価格	前年同期の売上高	(a/b) $\times 100$	$\alpha - \gamma = P$
主たる事業	円 (A1)	円 (B1)	($\alpha 1$)	円 (a1)	円 (b1)	($\gamma 1$)	(P1)
企業全体	円 (A2)	円 (B2)	($\alpha 2$)	円 (a2)	円 (b2)	($\gamma 2$)	(P2)

(注) 指定業種に属する事業を行っていることを疎明する書類等を別添用意すること。

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

申請者住所

氏 名

連絡先